

平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 19 年 1 月 29 日

会社名 東洋合成工業株式会社

(JASDAQ・コード番号：4970)

(URL <http://www.toyogosei.co.jp/>)

代表者 代表者役職 代表取締役社長

氏名 木村 正輝

問い合わせ先 責任者役職 取締役経理部長

氏名 三代川 雅人

TEL：(047)327-8080（代表）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 法人税等の計上基準及びその他一部に簡便な方法を採用しております。
- ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	10,149	(7.2)	770	(△17.0)	716	(△10.9)	447	(△9.5)
18 年 3 月期第 3 四半期	9,470	(6.9)	928	(△43.6)	803	(△43.1)	494	(△44.3)
(参考) 18 年 3 月期	12,699		1,149		979		642	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 3 四半期	54	90	—	—
18 年 3 月期第 3 四半期	60	70	—	—
(参考) 18 年 3 月期	73	96	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期での事業進捗は以下のとおりです。

主力の感光材事業は、高水準な電子デバイス需要を背景に、半導体用途向け販売が好調に推移いたしました。一方、液晶パネル用途向け販売は、現在回復傾向にあるものの、第 1 四半期での液晶パネルの在庫調整や価格下落の影響が残り、同部門の売上は前年同期と比較し、やや減少いたしました。一方、化成事業は、原油高による溶剤高騰を背景とした再生溶剤ニーズの高まりや、欧州を中心とする香料需要の拡大、積極的な営業活動などにより、同部門の売上は前年同期と比較し、大きく伸びました。またロジスティック事業は、前期に引続き高稼働率を維持し、前期と同水準の売上を確保いたしました。

以上の結果、当社全体の売上高は、10,149 百万円（前年同期比+7.2%）となりました。

損益面では、生産性の向上や経費削減に努めたものの、設備投資実施による減価償却費の増加並びに原油高による原材料・燃料費等の増加により、営業利益は 770 百万円（前年同期比△17.0%）、経常利益は 716 百万円（前年同期比△10.9%）、四半期純利益は 447 百万円（前年同期比△9.5%）となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切り捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第3四半期	28,848	8,446	29.3	1,037	18
18年3月期第3四半期	26,365	8,052	30.5	989	03
(参考)18年3月期	26,085	8,226	31.5	1,005	50

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末におきましては、前年同四半期末に比べて、総資産は2,482百万円増加し28,848百万円となり、負債合計は2,088百万円増加し20,401百万円となり、純資産は394百万円増加し8,446百万円となりました。資産の増加は、有形固定資産の増加等によるもので、負債の増加は、長期借入金の増加等によるものであります。この結果、当四半期末時点での自己資本比率は、前年同四半期末の30.5%から29.3%になりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年11月10日発表の通期の業績予想に変更はありません。

(参考)平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(百万円未満切り捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	14,000	820	470

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 57円72銭

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在における計画・見通しに基づく予測であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	1,747	2,057	△310	△15.1	1,589
受取手形及び売掛金	4,063	3,857	206	5.3	2,889
たな卸資産	5,179	4,158	1,021	24.6	4,345
その他	326	293	32	11.0	319
流動資産合計	11,316	10,367	948	9.2	9,144
II 固定資産					
有形固定資産	16,393	14,898	1,495	10.0	15,801
無形固定資産	181	167	14	8.6	158
投資その他の資産	956	931	24	2.6	982
固定資産合計	17,531	15,997	1,533	9.6	16,941
資産合計	28,848	26,365	2,482	9.4	26,085
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	2,181	1,949	231	11.9	2,208
短期借入金	9,540	10,178	△637	△6.3	6,864
その他	2,539	2,101	438	20.9	2,543
流動負債合計	14,261	14,229	32	0.2	11,616
II 固定負債					
長期借入金	5,068	3,076	1,992	64.8	5,212
その他	1,071	1,008	63	6.3	1,029
固定負債合計	6,140	4,084	2,055	50.3	6,242
負債合計	20,401	18,313	2,088	11.4	17,859
(資本の部)					
I 資本金	—	1,618	—	—	1,618
II 資本剰余金	—	1,541	—	—	1,541
III 利益剰余金	—	4,741	—	—	4,889
IV その他有価証券評 価差額金	—	151	—	—	177
V 自己株式	—	△0	—	—	△0
資本合計	—	8,052	—	—	8,226
負債及び資本合計	—	26,365	—	—	26,085

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
I 株主資本		—	—	—	—
資本金	1,618	—	—	—	—
資本剰余金	1,541	—	—	—	—
利益剰余金	5,137	—	—	—	—
自己株式	△0	—	—	—	—
株主資本合計	8,297	—	—	—	—
II 評価・換算差額等 その他有価証券評価 差額金	149	—	—	—	—
評価・換算差額等 合計	149	—	—	—	—
純資産合計	8,446	—	—	—	—
負債及び純資産合 計	28,848	—	—	—	—

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	10,149	9,470	678	7.2	12,699
II 売上原価	7,984	7,150	834	11.7	9,671
売上総利益	2,164	2,319	△155	△6.7	3,027
III 販売費及び一般管理費	1,393	1,390	2	0.2	1,877
営業利益	770	928	△157	△17.0	1,149
IV 営業外収益	110	69	41	59.2	79
V 営業外費用	165	194	△29	△14.9	249
経常利益	716	803	△87	△10.9	979
VI 特別利益	—	0	△0	△100.0	27
VII 特別損失	4	14	△10	△70.6	14
税引前四半期(当期)純利益	711	789	△77	△9.8	992
税金費用	264	294	△30	△10.2	350
四半期(当期)純利益	447	494	△47	△9.5	642

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。